① 研究課題名	視野障害認定基準におけるゴールドマン型視野計と自動視野計の等級判定の比較
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2009 年4月～2026年 12 月にゴールドマン型視野計と自動視野計の両眼開放エスターマンテスト及び 10-2 プログラムの測定を半年以内に行った患者	
③ 概要	
平成 30 年 7 月から視覚障害認定基準が改正され、視野障害の等級判定がゴールドマン型視野計に加えて現在普及している自動視野計でも認定可能になりました。しかし、ゴールドマン型視野計と自動視野計による等級判定が乖離する症例があり、この両検査での等級判定を比較した報告はまだありません。 今回、私たちは当院で測定したゴールドマン型視野計と自動視野計のデータを用い、視野障害の等級判定を比較し、等級が乖離した症例の傾向を知ることを目的としました。	
④ 申請番号	2019-0273
⑤ 研究の目的・意義	ゴールドマン型視野計と自動視野計での等級判定を比較し、乖離した症例の傾向を知ることで、視野障害認定に有用になると考えられます。
⑥ 研究期間	倫理審査委員会承認日から 2027年３月まで
⑦ 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている検査結果のデータを利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧ 利用または提供する情報の項目	ゴールドマン型視野計の視野角度、自動視野計での視認点数、視力値、年齢、疾患名
⑨ 利用の範囲	新潟大学　医歯学系眼科学分野
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学　医歯学系眼科学分野　教授　福地健郎
⑪お問い合わせ先	病院診療支援部リハビリ部門　　市村　美香 Tel：025-227-2296 E-mail：mi-ichi-@med.niigata-u.ac.jp